

科目名	専門演習 I Seminar I						
科目担当者	奥村 憲博 OKUMURA Norihiro						
単位数	4	配当年次	2年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>企業におけるマネジメント及び官庁における政策立案にしても、「鳥の目」、「魚の目」及び「虫の目」が必用とされる。「虫の目」については会計、財務及びマーケティング等の学部科目で学べることから、専門演習 I では、大局観を掌る「鳥の目」及びトレンドを体感する「魚の目」の習得につとめる。</p> <p>1) 鳥の目の涵養するため、宇宙創成から現代までを一望し、人間の歴史をより広い生物圏や宇宙の歴史の一部として捉えなおし、テクノロジーとサピエンスの未来を俯瞰する。</p> <p>2) 魚の目の涵養するため、以下の点を学習する。</p> <p>※ エネルギー転換：低炭素社会及び水素社会等へ（背後に地球温暖化）</p> <p>※ 資本主義及び民主主義の揺らぎ</p>						
授業の到達目標	<p>①宇宙創成から現代までを一望し、テクノロジーとサピエンスの未来を俯瞰する過程で、エネルギー転換（地球温暖化）及び資本主義・民主主義の揺らぎ等の課題を学習することで、各種課題の解決・改善に向けて主体的に対応する力（課題発見力・問題設定力・対応力）を身に付ける。</p> <p>②大局観を身に付けることで、地域社会のみならず国内外の広いフィールドで中核的な人材として活躍するための経営的知識、技能、読む力、考える力及び判断力（専門力・読解力・思考力・判断力）を養成する。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス	16	大転換：エネルギー転換			
	2	第Ⅰ部 宇宙：始まりー臨界1	17	資本主義の揺らぎ			
	3	恒星と銀河ー臨界2と臨界3	18	民主主義の揺らぎ			
	4	分子と衛星ー臨界4	19	ホモデウス ホモサピエンスが世界を征服する			
	5	第Ⅱ部ー 生物圏：生命ー臨界5	20	人新生			
	6	小さな生物と生命圏	21	人間の輝き			
	7	大きな生物と生命圏	22	物語の語り手			
	8	第Ⅲ部 私たち：人間ー臨界6	23	科学と宗教というおかしな夫婦			
	9	農耕ー臨界7	24	現代の契約			
	10	農耕文明	25	人元至上主義革命			
	11	現代世界の前夜	26	研究室の時限爆弾			
	12	人新生ー臨界8	27	知能と意識の大いなる分離			
	13	第Ⅳ部 未来：すべてはどこにむかおうとしているのか？ 太陽が死ぬー臨界9	28	意識の大海			
	14	宇宙の終わりー臨界10	29	データ教			
	15	人間の歴史に関する統計	30	卒論テーマについて			
授業外学修 (事前学修)	毎回、輪読本を予習し、講義内での意見、質問等をノートにまとめておく（毎週2時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	毎回、輪読本を復習し、それに関連する事例を新聞、テレビやインターネット等における国内外報道を検索し、ノートに追記する（毎週2時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	ゼミでの質疑・発言での貢献等 ゼミでのプレゼンテーション				80% 20%	①、② ①、②	
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	<p>1 デイビッド・クリスチャン [2019] オリジン・ストーリー, 筑摩書房</p> <p>2 ユヴァル・ノア・ハラリ [2018] ホモ・デウス, 河出書房出版</p> <p>※ 上記教科書（輪読本）についてはゼミから貸与する。</p>						
参考文献	<p>・ 斉藤幸平 [2020] 人新生の「資本論」, 集英社新書</p> <p>・ 成田悠輔 [2020] 22世紀の民主主義, SB 新書</p>						
その他							